

鯖江市の水道 (1)

地球は3分の2が水で覆われ、およそ14億km³の水があるといわれています。しかし淡水は少なく北極や南極の水や雪を除くと、私たちが「使える水」はわずかに0.8%しかありません。

人間の1人1日の最低ギリギリの水使用量は5ℓで、先進国の平均的な使用量は400〜500ℓといわれています。

減少傾向の消費量

鯖江市の1人1日の水の消費量は



上鯖江の上水道管理センター
水を貯え滅菌処理し全自動で各家庭に給水しています

平成15年度では42ℓで、ここ数年や減る傾向にあり、11年の459ℓに比べると7%程度落ちています。

暖冬で融雪に使用する水が減ったり、景気の低迷の影響もありますが、最近の節水型の食器洗浄器や洗濯機の効果も見逃せません。これからの需要はほぼ横ばいと予測されます。

安定した経営 高い稼働率

鯖江市の水道は恵まれていて、安くておいしい。水質も良く経営も安定していて原価も低く、県下7市のなかでトップの成績です。

水道料金は1m³あたり平均87円で武生市と並ぶ安さで、ちなみに福井市では120円です。給水原価は81円が一番安く、福井市の124円の65%という低さです。

資産内容が良く、総資産106億円に対する自己資本は68%を保持しています。

職員の稼働率が高く、12人の職員の1人当たりの給水人口は6,732人、有収水量は947,418m³で、いずれも福井市にくらべると2.8倍という効率で、少ない人員で多くの水を供給しています。